



2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月12日

上場会社名 NKKスイッチズ株式会社

上場取引所

東

コード番号 6943 URL <https://www.nkkswitches.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大橋 智成

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 海老沼 博行

TEL 044-813-8026

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

: 無

決算説明会開催の有無 : 無

: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	6,123	8.2	191		276		163	
2025年3月期第3四半期	5,658	22.5	175		142		116	

(注)包括利益 2026年3月期第3四半期 655百万円 (2,269.1%) 2025年3月期第3四半期 27百万円 (-95.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	198.79		
2025年3月期第3四半期	141.54		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	15,928	13,291	83.4	16,153.76
2025年3月期	14,974	12,702	84.8	15,437.03

(参考)自己資本 2026年3月期第3四半期 13,290百万円 2025年3月期 12,700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期		30.00		40.00	70.00
2026年3月期(予想)		40.00		40.00	80.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	8,300	9.7	0	0	50		0		0.00	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 社 (社名)

、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

以外の会計方針の変更：無

会計上の見積りの変更：無

修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	842,520 株	2025年3月期	842,520 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	19,789 株	2025年3月期	19,769 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	822,745 株	2025年3月期3Q	822,765 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載しております業績見通し等の将来に関する記述につきましては、当社グループが本資料の発表日現在にて入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢や市場動向等に関わるリスク、不確定要因により変動する可能性があります。また、業績予想の背景や前提条件等の詳細につきましては、添付資料の2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く世界の経済環境は、一部地域で根強い物価上昇圧力が継続する中、米国における関税をはじめとする通商政策の影響や金融引き締めの長期化懸念等により、景気の減速感が見られました。また、ウクライナ情勢及び中東情勢の長期化等の地政学リスクの高まりに加え、中国や欧州経済の回復の遅れなどを背景に、先行きに対する不透明感は引き続き強い状況にあります。日本経済におきましては、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大などにより、緩やかな回復の動きが見られるものの、原材料・エネルギー価格、人件費や物流費の高騰に伴う物価上昇の影響に加え、米国の通商政策等を巡る国際情勢の不安定化などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、当社グループが属する電子部品市場では、数年前の半導体不足や原材料不足に伴う過剰な先行受注に端を発した在庫調整はほぼ一巡したと見られるものの、需要回復にはなお時間を要している状況です。

このような環境の中、当社グループは、2030年のありたい姿として制定したグループビジョン「私たちが笑顔となり、お客様の困りごとを顧客目線で解決する真のパートナーとなります。」を実現するため、2025年度から3カ年の新中期経営計画Ⅱをスタートいたしました。新中期経営計画Ⅱでは、中期経営計画Ⅰで重点テーマとしてきた「信頼」と「納期」に関する取り組みを継続しつつ、次のステップとして「顧客価値の向上」を目指し、放送音響機器や特殊車両等の「特定市場の深耕」とグループ全体でお客様にとって最適な納期を創出する「生販一体の供給基盤構築」を重点テーマとし、グループの総力を結集してこれらに関する戦略を積極的に展開してまいりました。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,123百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益は191百万円（前年同期は175百万円の営業損失）、経常利益は276百万円（前年同期は142百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は163百万円（前年同期は116百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の平均為替レートは、1米ドル148.75円（前年同期比2.4%の円高）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

① 日本

日本経済におきましては、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大を背景に緩やかな回復基調にあるものの、円安進行を伴う原材料・エネルギー価格や人件費・物流費の高止まりに起因する物価上昇の影響に加え、米国の通商政策や金融市場の動向、不安定な国際情勢等を背景とした不確実性が残っており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。また、当社グループが属する電子部品市場では、数年前の半導体不足や原材料不足に伴う過剰な先行受注に端を発した在庫調整はほぼ一巡したと見られるものの、需要回復にはなお時間を要している状況です。こうした中、「顧客価値の向上」を目指し、重点テーマの一つである「特定市場の深耕」では、特定市場を更に拡大するためリーディングカンパニーとの関係強化に取り組むなど積極的な施策を展開してまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は前年同期比17.0%増、グループ間の取引を含んだ売上高は4,678百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

② 欧米

米国におきましては、関税政策を含む通商政策や金融引き締めの影響により景気減速懸念が続き、関税コストの価格転嫁による個人消費・設備投資の伸び悩みやサプライチェーン再編の影響も重なって、先行き不透明感が強まっております。欧州におきましても、ドイツをはじめとする成長率の鈍化や、地政学リスク等により景気回復が鈍く、欧米経済の先行きは依然として不透明な状況にあります。こうした中、「顧客価値の向上」を目指し、重点テーマの一つである「特定市場の深耕」では、オンライン広告の強化やリーディングカンパニーへの訪問を通じた顧客接点の拡大により顧客が必要としているニーズを確実に捉えるなど積極的な施策を展開してまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は現地通貨ベースで前年同期比0.3%減、為替の影響も含め2,752百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

③ アジア

アジアにおきましては、中国における不動産市場の調整の長期化や雇用環境の低迷等を背景とした景気減速の影響に加え、米国の通商・関税政策の動向やサプライチェーン再編の進展などにより、域内経済の回復は依然として力強さを欠き、先行きについても不透明な状況が続いております。こうした中、「顧客価値の向上」を目指し、重点テーマの一つである「特定市場の深耕」では、特定市場を更に拡大するためリーディングカンパニーとの関係強化や新たなパイプライン構築を意識した活動強化に取り組むなど積極的な施策を展開してまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は現地通貨ベースで前年同期比30.0%増、グループ間の取引を含んだ売上高は為替の影響を含め3,400百万円（前年同期比12.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は15,928百万円となり、前連結会計年度末に比べ953百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が468百万円、無形固定資産が301百万円、投資その他資産が349百万円増加したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,636百万円となり、前連結会計年度末に比べ364百万円増加いたしました。これは主に買掛金が133百万円、その他流動負債が178百万円増加したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は13,291百万円となり、前連結会計年度末に比べ589百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が97百万円、その他有価証券評価差額金が229百万円、為替換算調整勘定が262百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月8日の「2025年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想における為替レートにつきましては、1米ドル140円を前提としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,688,875	4,205,699
受取手形及び売掛金	1,271,439	1,321,949
電子記録債権	-	136,263
商品及び製品	1,141,603	1,140,174
仕掛品	45,889	77,962
原材料及び貯蔵品	1,813,571	1,988,704
その他	457,847	383,172
貸倒引当金	△5,364	△5,945
流動資産合計	9,413,863	9,247,981
固定資産		
有形固定資産	3,170,034	3,638,066
無形固定資産	509,332	811,154
投資その他の資産	1,881,405	2,231,257
固定資産合計	5,560,772	6,680,478
資産合計	14,974,635	15,928,459
負債の部		
流動負債		
買掛金	749,141	882,569
未払法人税等	10,899	23,417
引当金	113,702	48,381
その他	640,863	819,661
流動負債合計	1,514,606	1,774,029
固定負債		
退職給付に係る負債	66,722	60,008
役員退職慰労引当金	227,500	236,350
その他	463,363	566,416
固定負債合計	757,586	862,774
負債合計	2,272,192	2,636,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	9,301,498	9,399,231
自己株式	△162,912	△163,004
株主資本合計	10,923,691	11,021,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	589,389	819,088
為替換算調整勘定	1,187,748	1,449,782
その他の包括利益累計額合計	1,777,138	2,268,871
非支配株主持分	1,613	1,452
純資産合計	12,702,443	13,291,655
負債純資産合計	14,974,635	15,928,459

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	5,658,391	6,123,104
売上原価	3,297,016	3,559,113
売上総利益	2,361,375	2,563,990
販売費及び一般管理費	2,536,888	2,372,941
営業利益又は営業損失(△)	△175,512	191,049
営業外収益		
受取配当金	25,245	39,710
受取賃貸料	24,359	23,926
持分法による投資利益	—	19,906
その他	21,918	16,603
営業外収益合計	71,522	100,147
営業外費用		
支払利息	5,140	4,556
賃貸収入原価	10,009	10,055
為替差損	16,478	287
持分法による投資損失	6,564	—
営業外費用合計	38,193	14,899
経常利益又は経常損失(△)	△142,183	276,297
特別利益		
固定資産売却益	259	33
投資有価証券売却益	89,151	1,099
特別利益合計	89,410	1,133
特別損失		
固定資産除却損	0	488
特別損失合計	0	488
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△52,773	276,942
法人税、住民税及び事業税	11,355	111,645
法人税等調整額	52,406	1,905
法人税等合計	63,762	113,550
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△116,535	163,391
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△81	△160
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△116,454	163,552

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△116,535	163,391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,897	229,698
為替換算調整勘定	166,085	262,034
その他の包括利益合計	144,187	491,732
四半期包括利益	27,652	655,124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,733	655,284
非支配株主に係る四半期包括利益	△81	△160

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	2,179,049	2,830,790	648,552	5,658,391
外部顧客への売上高	2,179,049	2,830,790	648,552	5,658,391
セグメント間の内部売上高又 は振替高	2,367,752	—	2,364,951	4,732,704
計	4,546,801	2,830,790	3,013,504	10,391,096
セグメント利益または損失 (△)	△331,613	△87,415	44,248	△374,781

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金額
報告セグメント計	△374,781
セグメント間取引消去	199,269
四半期連結損益計算書の営業損失 (△)	△175,512

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	2,548,716	2,752,144	822,243	6,123,104
外部顧客への売上高	2,548,716	2,752,144	822,243	6,123,104
セグメント間の内部売上高又 は振替高	2,130,084	—	2,578,441	4,708,526
計	4,678,800	2,752,144	3,400,684	10,831,630
セグメント利益または損失 (△)	△199,098	267,774	206,914	275,591

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金額
報告セグメント計	275,591
セグメント間取引消去	△84,541
四半期連結損益計算書の営業利益	191,049

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	369,083千円